

IPAC'26 に参加して

加速器第六研究系 山本尚人

はじめに

International Particle Accelerator Conference (IPAC) はアジア、ヨーロッパ、アメリカ三地域の加速器コミュニティが連携して開催する加速器分野最大規模の国際会議である。毎年、世界各国から加速器研究者・技術者・企業関係者が多数参加し、最先端の研究成果やプロジェクトの動向が報告・共有されている。第 17 回目となる IPAC'26 は、2026 年 5 月 17 日から 22 日にかけて、フランス・ドゥーヴィルにて開催された。IPAC は 2010 年以来 3 地域による持ち回り形式で毎年開催されており、ヨーロッパ地域では今回は 2023 年イタリア・ヴェネツィアに続く開催となった。フランス・ノルマンディー地方での IPAC 開催は 2020 年に予定されていたが、COVID-19 の流行により現地開催を断念しビデオ配信主体の "Virtual Conference" となった経緯がある。ちなみに次回以降については、2027 年は米国・デトロイト、2028 年は日本・東京、2029 年はイギリス・リヴァプールで開催が決定している。

IPAC に期待すること

冒頭でも述べたが、IPAC は加速器分野最大規模の国際会議である。加速器をキーワードにあらゆる分野の研究者が参加し、それぞれが大なり小なりの研究成果を報告する。プレナリーセッションでは開催地・主催者による加速器レビューの他に、この 1-2 年に大きな動きのあったプロジェクトや研究開発がプログラム委員によりピックアップされ、口頭で報告される。

細分化された中の 1 分野で長年研究を行ってきた研究者(私)にとっては、IPAC は世界での加速器の動向を知るには良い機会となるが、専門的な課題に対してじっくりと議論をする場としては期待できない。発表者も複数の共同研究者の成果を代表して紹介していることが多く、詳細は把

握していないことが多い。専門的な議論を求めるならば、個々の研究課題に特化した Workshop や Meeting に参加する方が有益である。

今回私は 2018 年の参加以来、8 年ぶりの IPAC 参加である。私がなければの研究費から参加費約 20 万円、旅費・滞在費約 60 万円をかけ、さらに自己の受け持つ研究を 1 週間以上停滞させてまで IPAC に参加し期待することは、1) 世界の加速器の動向を肌で感じること、2) 自己の研究に応用できそうな他分野の課題・技術を調べることであり、3) 以前共に研究・議論した友人と旧交を温めることである。今回の参加では、1) 3) については期待した成果を得られた。2) については、現時点では評価できない。



Fig.2 Convention Bureau in Deauville のメイン会場で行われたプレナリーセッション。1500 人収容。



Fig. 1 IPAC'26 のキー・ビジュアル。イギリス海峡を望む砂浜の海岸と立ち並ぶハリウッドスター名のついた更衣室。



Fig. 3 Convention Bureau in Deauville のサブ会場。パラレルセッションで用いられた。

開催地について

IPAC'26 の開催地であるフランス・ドゥーヴィルは、ノルマンディー地方にある保養観光地である。ヨーロッパ地域での IPAC は観光地で行われることが多い印象がある。第 2 回の IPAC'11 はスペインのサンセバスチャン、IPAC'14 はドイツのドレスデン、そして私は不参加であるが IPAC'23 のイタリア・ヴェネツィアなどが思いつく。

ドゥーヴィルはフランスのカルヴァドス県の町で、「ノルマンディー海岸の女王」と謳われるらしい。ドゥーヴィル競馬場も有名であるが、1975 年から毎年アメリカ映画祭が開催されており、イギリス海峡を望む砂浜の海岸にはハリウッドスターの名がついた更衣室が連なっている。この海岸の景色が IPAC'26 のキー・ビジュアルとなっている (Fig. 1)。

IPAC の会場はアメリカ映画祭の会場としても使われている Convention Bureau in Deauville であり、会場内の通路には歴代のアメリカ映画祭のポスターが並んでいた。Figure 2 にメイン会場（1500 人収容）で行われたプレナリーセッションの様子、Fig. 3 にはパラレルセッションで用いられたもう一つの会場の様子を示す。プレナリーセッション時には座席に余裕が無いため、隙間を空けずに詰めて座るようにと案内があった。会場は 1F がエントランス、地下に Figs. 2, 3 に示した口頭発表会場・ポスター発表会場・企業展示会場が設けられた巨大な空間を有する、一見平屋の建物であった。

Convention Bureau in Deauville はドゥーヴィルの中心（町役場：Mairie de Deauville, Fig. 4）から徒歩 5~10 分程度に位置し、その途中には Louis Vuitton, Hermès, Printemps, カジノホテルなど私でも耳にしたことのある高級ブランドショップが並ぶ。町役場から会場と逆方向に歩けば、マルシェが開催される広場、軽食屋、レストラン、パン屋 (Boulangerie) がある。庶民の味方であるパン屋であっても、他のフランスの町より割高であるように感じた。ちなみに、町役場から海岸と反対の人気のない方向に 5 分程度



Fig. 4 Mairie de Deauville. ドゥーヴィルの町役場は地域の象徴として、高級ホテルやブランドショップに見劣りしない雰囲気を持っていた。

歩くと、庶民の味方のスーパー (Carrefour) にたどり着く。私も会議初日に食料調達のためこのスーパーを訪れたが、会場で見かけた顔を複数見つけた。

今回、私はエールフランスの羽田 - パリの直行便を利用した。往路はアンカレッジ・グリーンランド・イギリス上空を抜けるルートで約 16 時間、帰路はスイス・トルコ・中国上空を抜けるルートで約 14 時間、合わせて地球一周の旅である。パリのシャルル・ド・ゴール空港とドゥーヴィルの IPAC 会場間は LOC がバスを手配しておりこれを利用した。空港からドゥーヴィルまで約 200km, 2 時間のバスの旅である。車窓からはパリ名物の大渋滞と農業国フランスの田園風景をうつらうつらと満喫した。

レセプションとバンケット

国際会議の主催者が最も力を入れる部分はレセプションとバンケットである。IPAC'26 では 2 日目（火曜日）と 4 日目（木曜日）にそれぞれ開催された。レセプションは比較のカジュアルな立食形式、バンケットは趣を変えフォーマルな着座形式のディナーであった。

レセプションは IPAC 会場と大通りを挟んで向かいにあるカジノホテルで催され、生ガキ、キャビア、イクラ、生ハム、チーズ、白アスパラ、ガレット、シャンパン、ワイン、シードルと地物の季節の食材が並んだ。また、IPAC 恒例のダンスルームも設けられ、プロの楽団の演奏に合わせて盛り上がる一幕もあった (Fig.5)。レセプション会場はカジノ入口にも面しており、食材がなくなりつつある後半にはカジノに消えていく若者たちの姿も見受けられた。

バンケットは会場からバスで 20 分程離れたドゥーヴィル競馬場に隣接したイベント会場で開催された。バスの出発前にはバンケットに先立ち 40 分のエンターテインメントセッションがプログラムされ、Institut français du cheval et de l'équitation (IFCE, 日本でいえば「馬産業振興機関」「競技馬術支援機関」「馬の登録管理機関」「馬術学校」の機能を合わせ持つような存在) 北西地域担当代表の Rosine



Fig. 5 レセプションで的一幕。IPAC 名物のダンスパーティー。

Travers 博士から "Horses in France: a ride through history, regions and science" というタイトルで講演があった。イベント会場ではバンケット前に厩舎見学や実際に馬に触れる機会も設けられた。バンケットでは会場の中心に馬場が設けられ、乗馬ショーを鑑賞しながらのディナー (Fig. 6) となった。食事の質・量よりも格調の高さを重視する主催者の意識の高さを感じられる催しであった。

終わりに

以上、IPAC'26 について学術研究とは異なる側面について徒然と紹介させて頂いた。具体的な研究発表やその傾向について興味のある方は Indico のサイト (<https://indico.jacow.org/event/95/overview>) を参照して頂きたい。

今や IPAC の発表資料やそのプロシーディングスはほとんどが Web で公開されており、疑問点などがあってもメールを介して簡単に質問できる環境にある。この円安の時代、コストパフォーマンスを考えると敢えて国際会議に参加することの意義を見出せない人もいるのではなかろうか。しかし、実際に現地で会議に参加し研究の盛り上がりを感じること、論文等で名を見かける研究者を直接つかまえて議論することはかけがえのない経験となる。異文化、世界の食文化との接触も同様である。読者の皆さんは、たとえ予算がなくとも、是非手を挙げて国際会議もしくは Workshop に参加し、PF そして自己の研究活動を活性化して頂きたい。



Fig. 6 バンケットで的一幕。乗馬ショーを鑑賞しながらのディナー。